

海外応募者対象ロータリー米山記念奨学生募集要項

海外から日本の大学・大学院へ直接入学予定者対象

2018年4月&10月入学

Rotary Yoneyama Scholarship for Applicants Residing Abroad

◇ ロータリー米山記念奨学会とは・・・

勉学、研究を志す私費外国人留学生に対し、
日本全国のロータリアンの寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する、
国際奨学団体です。事業規模と採用数において民間最大の奨学団体です。

◇ 海外に居住する日本留学希望者が応募できるプログラムです

これから来日予定の外国人留学生が応募できます。

応募のための必須条件は、次の項目です。

- 奨学金申請者が入学したい日本の大学・大学院を決定していること
 - 入学のための応募手続きをしていること
 - 入学予定校からの合格通知（入学許可書や※渡日前入学許可書等）
を以下の条件で提出できること
- ① 2018年4月入学者： 2018年1月末までに当会に提出
② 2018年秋入学者： 2018年6月末までに当会に提出

※渡日前入学許可とは：

受験者が母国にいながら日本の大学等の入学者選抜（書類選考）を受験し、
入学許可を得ることが可能となる制度で、このシステムによる受験生の負担が
少ないのが特長。導入校は受験生が探すこと。

ロータリーとは

異なる職業の人々が地域でロータリー・クラブという会合を持ち、職業を通して社会の発展と国際平和に貢献することを目的に活動している団体です。1905年アメリカ・シカゴで発足し、今では200以上の国と地域に広まり、クラブ数35,533、会員数1,233,172名(2017年3月31日RI公式発表)に達しています。日本では1920年に、東京で初めてロータリー・クラブが設立されました。現在、日本ではクラブ数2,264、会員数は89,789名(2017年5月末現在)です。

◇ はじめに

1. ロータリー米山記念奨学事業の使命

ロータリー米山記念奨学事業(以下、「米山奨学事業」と表記)の使命は、留学生の優れた学業の達成を支援し、社会に貢献する人材を育てることにあります。

同時に、世話クラブやカウンセラーとの交流を通じ、ロータリー精神を学び、国際理解を深め日本と母国との懸け橋となるなど、国際親善に尽くす人材を育成することにあります。これは、ロータリーの目指す“平和と国際理解の推進”そのものです。

そのため、申請者は、「(1)学業への熱意と将来への具体的目標が明確」で「(2)異文化とその違いを認識し尊重する心を備え」、且つ「(3)豊かな表現力と円滑なコミュニケーション能力を持ち」、「(4)米山奨学事業の使命を深く理解し、具体的に行動する人材」であることが期待されます。

2. 海外応募者対象ロータリー米山記念奨学金の特長

「海外応募者対象ロータリー米山記念奨学金」(以下、「海外応募奨学金」と表記)は、留学生にとって一番困難が多いとされる入国初年度から支援する特別なプログラムです。来日と同時に、“経済的支援”と“ロータリー会員による心の支援”を受けられる制度は、来日したことのない留学生にとって大きな支えとなります。

日本では近年、日本留学希望者(受験者)が来日することなく、必要書類を提出し選考されることによって合否判定され、入学が許可される“渡日前入学許可”を積極的に運用する大学が増えてきました。海外応募奨学金は、このような選考システムを持つ大学への入学を希望する受験生に適した奨学金です。一方、来日して受験しなければ合否を判定しない、という大学も未だに多く存在します。一時来日して大学への受験を受ける場合は、帰国を条件に、この奨学金への応募が可能です。参考資料:(独)日本学生支援機構(JASSO)ホームページの「日本留学試験利用渡日前入学許可校一覧」

(http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/eju/examinee/prearrival/uni_national.html)をご覧ください。

3. 米山奨学生のケアと受入れシステム

奨学金による経済的援助だけでなく、ロータリーならではの「世話クラブ・カウンセラー制度」を設けて、奨学生の精神面のケアを重視しているのが特長です。奨学生一人ひとりに、地域のロータリークラブから世話クラブが選ばれ、さらにその会員の中からカウンセラーが付いて、奨学生との交流を深め、彼らの日本での生活が心豊かなものになるように配慮しています。

奨学生は、毎月1回以上世話クラブの例会(会合)に出席します。奨学金は、例会出席の際、支給されます。

4. 米山奨学生の義務

1. 来日後は、日本語でのコミュニケーションに努め、交流を広げてください。
2. 米山奨学生は、世話クラブであるロータリークラブの例会(会合)へ毎月1回以上出席します。
3. 年2回、奨学生レポートを当会に提出します。
4. 例会での卓話(スピーチ)を行い、世話クラブおよびロータリー地区の活動に積極的に参加するなど、ロータリアンとの交流を通して相互理解を深める努力をします。
5. 奨学期間終了後も、ロータリーの世界で培った交流・親善をさらに育んでください。

5. 重視される日本語でのコミュニケーション

現在、日本でも英語のみによる授業が行われ学位を取得できる大学が存在します。海外応募奨学生の多くは、その様な環境で研究するケースが多いでしょう。応募の条件は、「日本語運用力を必要としない地域」と、「必要とする地域」とに分かれていますので注意してください(P. 4-5参照)。

いずれにしても、来日後、奨学生は日本語で話すことが期待されますので、日本語学習に努め、日本語でコミュニケーションをするようにしてください。

米山奨学生となったからには、留学の地である日本の言語を通じ、文化・習慣に馴染み、人物交流の幅を広げてください。日本語での交流に努める姿勢は、周囲からの貴方への理解を深める結果となります。

募集要項

1. 募集と選考方法

(1) 募集

海外応募奨学金の募集および申し込みは、ロータリー米山記念奨学会(以下「当会」と表記)事務局が窓口となる。

(2) 日本の大学への入学選抜受験手続き

申請者は、母国に居ながら日本の大学等の入学選抜を受験し、入学許可を得るための手続きを行っていること。

(3) 奨学生選考方法

日本のロータリーは 34 地区で組織・構成され、各地区に米山奨学生選考委員会を設けている。申請者は、入学予定大学が所在するロータリー地区の選考委員会(以下、「地区選考委員会」と表記)、および当会選考委員会による書類審査を受け、合否が決定される。選考は、基本的に書類選考。ただし、事情により、地区選考委員が面接(母国面接やスカイプを通じて)を実施したり、電話による聞き取り調査を行う場合がある。

(4) 日本語運用力の要求

学校の所在地によって日本語運用力の要求度が違う。日本語能力検定結果保持者は結果認定書または証明書の写しを提出すること。

日本語能力検定試験：<http://www.jlpt.jp/index.html>

エリアはロータリー地区で表記。次頁のロータリー地区一覧を参照

応募対象エリア (ロータリー地区)	日本語運用力の要否とレベル
2500, 2700, 2780	日本語運用力を応募・選考の対象としない
2530, 2570, 2610, 2620, 2680	基本的な日本語をある程度理解することができる (日本語能力検定試験 N5 レベル)
2510, 2640, 2840	基本的な日本語を理解することができる。 (日本語能力検定試験 N4 レベル)
2520, 2540, 2580, 2590, 2600, 2630, 2710, 2720, 2730, 2750, 2770, 2800, 2820	日常的な場面で使われる日本語を ある程度理解することができる。 (日本語能力検定試験 N3 レベル)
2550, 2650, 2670, 2690, 2760, 2790, 2830	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で 使われる日本語をある程度理解することができる。 (日本語能力検定試験 N2 レベル)
2560, 2660, 2740	幅広い場面で使われる日本語を理解することができる。 (日本語能力検定試験 N1 レベル)

【ロータリー地区一覧】

ロータリー地区	都道府県	区分
2500	北海道	北海道東部 旭川市 釧路市 帯広市 北見市 網走市 稚内市 紋別市 士別市 名寄市 根室市 富良野市 上川郡 空知郡(中富良野町、南富良野町、上富良野町) 中川郡 宗谷郡 枝幸郡 天塩郡 網走郡 斜里郡 常呂郡 紋別郡 河東郡 河西郡 広尾郡 足寄郡 十勝郡 釧路郡 厚岸郡 川上郡 阿寒郡 白糠郡 野付郡 標津郡 目梨郡 礼文郡 利尻郡
2510		北海道西部 函館市 伊達市 室蘭市 苫小牧市 千歳市 北広島市 札幌市 江別市 砂川市 小樽市 岩見沢市 滝川市 赤 平市 芦別市 美唄市 深川市 留萌市 登別市 石狩市 北斗市 歌志内市 苫前郡 雨竜郡 留萌郡 空知郡 (2500地区以外の町) 夕張郡 石狩郡 岩内郡 虻田郡 磯谷郡 余市郡 幌泉郡 様似郡 日高郡 浦河郡 茅 部郡 亀田郡 山越郡 桧山郡 松前郡 白老郡 上磯郡 恵庭市 三笠市 夕張市 増毛郡 樺戸郡 古 平郡 積丹郡 古宇郡 勇払郡 新冠郡 寿都郡 島牧郡 瀬棚郡 二世海郡 爾志郡 奥尻郡 有珠郡 沙流郡 久遠郡
2520	岩手県／宮城県	
2530	福島県	
2540	秋田県	
2550	栃木県	
2560	新潟県	
2570	埼玉県	埼玉県西北部 川越市 熊谷市 行田市 秩父市 所沢市 飯能市 加須市 本庄市 東松山市 狭山市 羽生市 深 谷市 入間市 朝霞市 志木市 和光市 新座市 富士見市 ふじみ野市 坂戸市 鶴ヶ島市 日高市 入間郡 比企郡 秩父郡 児玉郡 大里郡 鴻巣市(旧吹上町・旧川里町)
2770		埼玉県南東部 さいたま市 上尾市 桶川市 北本市 鴻巣市(旧吹上町・旧川里町以外) 春日部市 幸手市 久喜市 越谷 市 蓮田市 草加市 八潮市 吉川市 三郷市 川口市 戸田市 蕨市 南埼玉郡 北埼玉郡(騎西町以外) 北 葛飾郡 北足立郡伊奈町
2580	東京都	東京都東北部および沖縄県 江戸川区 葛飾区 足立区 墨田区 江東区 荒川区 台東区 千代田区 文京区 北区 板橋区 豊 島区 新宿区 中野区 練馬区 武蔵野市 西東京市 東久留米市 清瀬市 小平市 東村山市 東大 和市 武蔵村山市 福生市 羽村市 あきる野市 青梅市 西多摩郡
2750		東京都西南部 中央区 港区 品川区 大田区 渋谷区 杉並区 世田谷区 目黒区 八王子市 日野市 町田市 立 川市 国分寺市 小金井市 三鷹市 昭島市 国立市 府中市 調布市 多摩市 狛江市 稲城市
2590	神奈川県	横浜市 川崎市
2780		横浜市 川崎市以外
2600	長野県	
2610	富山県／石川県	
2620	山梨県／静岡県	
2630	岐阜県／三重県	
2640	和歌山県	和歌山県
2660		和泉市 泉大津市 泉佐野市 大阪狭山市 貝塚市 河内長野市 岸和田市 堺市 泉南市 高石市 富田林市 羽曳野市 阪南市 藤井寺市 松原市 泉南郡 泉北郡 南河内郡
2650	福井県／滋賀県／京都府／奈良県	
2670	徳島県／香川県／愛媛県／高知県	
2680	兵庫県	
2690	鳥取県／島根県／岡山県	
2700	福岡県／長崎県 壱岐・対馬／佐賀県 鳥栖市・上峰町以外の三養基郡	
2710	広島県／山口県	
2720	大分県／熊本県	
2730	宮崎県／鹿児島県	
2740	佐賀県／長崎県	
2760	愛知県	
2790	千葉県	
2800	山形県	
2820	茨城県	
2830	青森県	
2840	群馬県	

2. 募集人員

15名ほど

3. 対象

2018年4月あるいは10月(9月)に日本の文部科学省所管の大学・大学院に入学予定の外国人留学生で、日本の入学予定校を決定し、入学許可を得るための手続きを行っている者。また、申請時に日本以外の国に居住し、入学予定校への入学まで海外に居住する者であること。

4. 応募資格

下記項目に全て該当する者に応募資格がある。

(1) 国籍および居住地

日本国籍を持たない者(二重国籍であっても、日本国籍を持つ者には応募資格が無い)

日本以外に居住する者(既に日本に居住している者には応募資格が無い)

(2) 日本での入学校と入学許可

日本の文部科学省が所管する大学、大学院に学位取得を目的として入学する者で、日本の入学予定校から受入許可証あるいは合格通知、または「渡日前入学許可書」の発行を受ける手続きを済ませた者、あるいは手続き中の者で、2018年4月、または10(9)月に入学を予定する者に応募資格がある。

なお、仮に、受験生が筆記・面接試験受験を目的に入学前に来日した場合は、必ず帰国すること。

学部生の場合は願書の写し、大学院生の場合は日本の志望校の指導教官からの推薦状の提出を必須とする。申込段階で提出がない者は無資格とする。

(3) 学業・健康

学業への熱意と将来への具体的目標が明確で、異文化とその違いを認識し尊重する心を備え、且つ豊かな表現力と円滑なコミュニケーション能力を持ち、米山奨学事業の使命を深く理解しようと努め具体的に行動する学生で、心身共に留学生活に耐えうる健全な者。

(4) 専攻分野

問わない

(5) 日本語運用能力

P.4-5 に示すとおり、募集地域によって「日本語運用力」を応募条件に含める場合と含めない場合がある。いずれにしても、来日後、米山奨学生として、日本語でのコミュニケーションに努め、交流を広げることが求められる。

(6) 年齢

1977年4月1日以降に生まれた者(40歳未満の者)。

(7) 学位について

下記の場合、応募資格は無い。

- ・学部課程入学予定者が、既に「学士」の学位を取得している場合。
- ・修士課程入学予定者が、既に「修士」の学位を取得している場合。
- ・博士課程入学予定者が、既に「博士」の学位を取得している場合。

(8) 他の奨学金との二重受給の禁止

当会からの奨学金受給を決定し、同時に他の機関からの奨学金を受ける者は失格となる。

(9) 過去に、米山奨学金を受給した者には、応募資格はない。

5. 奨学金・補助費と奨学期間

この奨学金はフルカバーではなく、入学金、授業料の補助はない。

(1) 奨学金

- | | |
|-----------|--------|
| ① 大学学部課程 | 月額10万円 |
| ② 大学院修士課程 | 月額14万円 |
| ③ 大学院博士課程 | 月額14万円 |

※研究生に応募資格はない

(2) 補助費

初年度のみ、補助費として年額40万円が来日時점에支給される。

(3) 奨学期間

■2018年4月入学の場合

- | | |
|--------|----------------------|
| ① 学部生 | 2年間(2018年4月～2020年3月) |
| ② 大学院生 | 2年間(2018年4月～2020年3月) |

■2018年10月(9月)入学の場合

- ① 学部生 2年間(2018年10(9)月～2020年9(8)月)
- ② 大学院生 2年間(2018年10(9)月～2020年9(8)月)

※ 理由にかかわらず上記奨学金支給開始月(大学が定めた入学月)までに来日しない場合は、奨学生としての資格を喪失する。

6. 応募書類

- (1) 申込書(所定用紙・写真付)

※「入学を希望する日本の学校・課程・学科・研究科名称、
受験受付窓口、連絡先を申込書所定欄に明記する」
この記入が無い場合は、無資格とする。

- (2) 入学願書(写)または受験票(写)：入学を希望する日本の学校に
提出した「応募書類のコピー」

学部生は特に入学願書の写しがないと受け付けない。願書受付時期
が遅くて提出できない場合は、この奨学金に申し込めない。

- (3) 研究計画書(所定用紙)

大学院入学予定者(研究生を含む)のみ提出を要する

- (4) 作文「日本留学の目的」(所定用紙)

- (5) 日本の入学校の指導教員の推薦状(所定用紙)

大学院生は日本の入学校の指導教員推薦状がないとこの奨学金に
申し込めない。この場合、日本語で書かれた推薦状を推奨する。

学部生で、日本の志望校からの推薦状が提出できない場合、
以下から1通を提出すること。

- (i) 母国の大学の指導教員からの推薦状
- (ii) 母国の職場等からの推薦状
- (iii) 日本の入学校関係者からの推薦状

本人または家族からの推薦状は受け付けない。

- (6) 日本の入学予定大学からの渡日前採用入学許可書(合格通知または
入学許可書等)

申込時は提出できずとも、この書類だけは以下の期限内の追送を許
可する。秋入学の場合は、奨学金に仮合格した者のみ提出する。

合格通知または渡日前入学許可書の最終提出期限：

- i. 2018年4月入学予定者：提出期限 2018年1月末
- ii. 2018年10(9)月入学予定者：提出期限 2018年6月末

※ 提出により応募資格を満たす。なお、希望校への入学が不合格とな

った者は、その時点で応募資格が取り消される。

(7) 日本語能力検定試験受験者は結果通知（写）を提出する。

※申込書類に不足がある場合は受理しない。

※(5)推薦状と(6)合格通知は学校から直接当会へ送付しても構わないが、10月16日、日本時間午後1時必着のこと。

※応募にあたっての使用言語：日本語、または英語

日本語能力を求めている地区への申込は、書類も日本語で作成することが望ましい。

※申請書や提出書類が日本語または英語以外の場合、必ず日本語訳または英語訳を添付する。

7. 応募書類受付窓口

(1) 当会ホームページより海外応募者採用奨学金申込書をダウンロードし、必要事項を記入する。

<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/overseas>

(2) 記入済の申込書と提出書類を「自分の名前(英語表記)のファイル名」で保存し、emailに添付して、下記アドレスへ送付する。PDFファイル、あるいはワードファイル、どちらでも構わない。

apply@rotary-yoneyama.or.jp

※必要書類が添付されているか一目で分かるように、提出書類毎にファイル名を変えて保存し、email添付して送付すること。

例: 申込者 Margaret King の場合

- ① 申込書: ファイル名「Margaret King_1_application」
- ② 入学願書: ファイル名「Margaret King_2_entry」
- ③ 研究計画書: ファイル名「Margaret King_3_plan」
- ④ 作文: ファイル名「Margaret King_4_composition」
- ⑤ 推薦状: ファイル名「Margaret King_5_recommendation」
- ⑥ 合格通知: ファイル名「Margaret King_6_acceptance」
- ⑦ 日本語検定結果: ファイル名「Margaret King_7_japanese」

※⑤推薦状と⑥合格通知は学校から直接当会へ送付しても構わないが、10月16日日本時間午後1時必着のこと。

※学部生は③研究計画書は提出不要。

※日本語検定を受けたことのない者は⑦結果提出不要。

(3) 当会から申込受付番号をメールにて返信する。

今後、追加提出書類や質問がある場合、申込番号をメールの「件名」に表示して送信すること。

8. 募集・選考・結果発表まで

- (1) 募集開始: 2017年 8月
- (2) 募集締切: 10月16日日本時間午後1時をもって、応募書類の受付を終了する。(4月入学、10月入学共通)
追加提出に関しては、「日本の大学からの合格通知(渡日前入学許可書)」のみ締切日以降も受け付ける。
これ以外の書類は一切受け付けない。
- (3) 選考: 基本的に書類選考とする。
応募書類に不備がある場合、選考の対象としない。
- (4) 渡日前採用入学許可書最終提出期限:
 - i. 2018年4月入学予定者: 2018年1月末
 - ii. 2018年10(9)月入学予定者: 2018年6月末※ 提出により応募資格を満たす。なお、希望校への入学が不合格となった者は、その時点で応募資格が取り消される。
- (5) 選考結果発表 :
メールにて下記の日程で通知する。
・2018年2月中旬通知

不合格の理由などの問い合わせについては、一切受け付けない。

9. 来日と奨学金支給

奨学生は、入学校が定める入学月までに来日する。理由にかかわらず、下記奨学金支給開始月までに来日しない場合は、奨学生としての資格を失う。

- ① 4月入学の場合: 2018年4月から奨学金支給を開始する
- ② 秋入学の場合: 2018年10月(大学によって9月)から奨学金支給を開始する。

10. 奨学金問い合わせ先

公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会・選考委員会
奨学会 HP 専用フォームによりお問い合わせください。

<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/overseas#inquiry>

◇ 入学校へ確認すること

1. 渡日前入学許可書発行

入学予定校が、“渡日前入学許可書”を発行するシステムを持つ大学で申請者は、入学希望校の入試情報を積極的に得るなどして、渡日前入学許可を発行するシステムがある大学かどうかを確認してください。また、大学への応募時期を逃さないよう出願時期に間に合うよう応募手続きをしてください。

2. 宿舎

奨学生が安心して勉学に専念できるよう、渡日後1年間は、受入校が設置する宿舎に優先して入居できるよう、大学側の協力があることが望まれます。宿舎の提供が困難な場合は、大学側から公的・民間宿舎を紹介されるなどの配慮をお願いします。

3. 入国のための手続き

奨学金合格となった場合、入学校担当者に合格者の為の「在留資格認定証明書交付申請」の代理申請を代わってしていただきます。(入国管理局の指導では、受入大学が代理人申請者と、されています)。

◇ 来日のための経済証明書

合格者は、入学予定校が代理申請をする「在留資格認定証明書(ビザ発給のための手続き)交付申請」において、日本の法務省入国管理局に対して、経済面を証明する書類の提出をします。

当会は、奨学金合格者に対して、「合格通知(明記内容:月額奨学金・補助費・奨学期間)」を発行します。合格通知は、奨学生の経済面を証明する書類の一つです。

※ 当会の経済証明内容(初年度支援額)

学部生 : 年額 120 万円 + 40 万円

大学院生 : 年額 168 万円 + 40 万円

※ 2年目支給額は、上記から補助費 40 万円を除いた額

参考 日本の国立大学法人への入学金・授業料は、およそ年額 82 万円程度が必要です(入学金 28 万円/授業料年額 54 万円平均)。 以上